ふしぎなフーセンガム

# ミックススタイルで生きていく

2年　M・Hさん

わたしは、お洋服を着ることが好きです。女の子らしい可愛い服も、かっこいいボーイッシュな服も、ミックスして着るのがお気に入りです。たとえば、ひらひらしたトップスに、かっこいいハーフパンツを合わせるのが好きです。

ある日、わたしがズボンをはいているのを見て、クラスの男子が言いました。

「男の世界へようこそ！」

わたしは答えました。

「ありがとう。」

また、ちがう友達から「上は女で、下は男みたいな服だね」と言われたこともあります。心の中で「どれも全部わたしなのにな」と、少しふしぎな気持ちがしていました。

わたしは、女の子の友達とおしゃべりしてあそぶ時間も、男子とおもしろい話をして笑う時間も、同じくらい楽しいです。だから、「男の世界」や「女の世界」と分けてどちらかをえらぶのではなく、わたしはわたしのままで、どちらの中にもいたいなと思います。

だから、『ふしぎなフーセンガム』を読んだとき、登場人物の気持ちがとてもよくわかりました。家でゆびあみをするのが好きな男の子のじゅんくんも、男の子みたいと言われる女の子のみこちゃんも、みんなそれぞれ「これが自分なんだ」という気持ちをもっています。周りの人がきめた「らしさ」に合わせる必要なんてないのだと教えてくれました。

ふしぎなフーセンガムでへんしんしなくても、みんなさいしょから、自分のままでいいはずです。世界なんて、わざわざ分ける必要はありません。一つの大きな世界の中で、みんなが自分らしく好きなことができれば、それが一番よいのだと思います。

わたしはこれからも、好きな洋服をたくさんミックスして楽しみながら、大切な「わたし」のままで進んでいきたいです。